marantz®

Model ES-150A 取扱説明書

Integrated Amplifier

マランツのステレオインテグレーテッドアンプをお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

目 次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。
  この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

- この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れる時は、機器の天面から20cm以上、背面から20cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

安全上のご注意

● この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

● この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

警　告

分解禁止

● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。

● 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、テレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。

● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。

注　意

電源プラグをコンセントから抜く

● 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
● 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードは使用しないでください。

● 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。

電源プラグをコンセントから抜く

● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

安全上のご注意

● ５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子とマイナス端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

● 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池室についた液をよく拭き取ってから新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

注　意

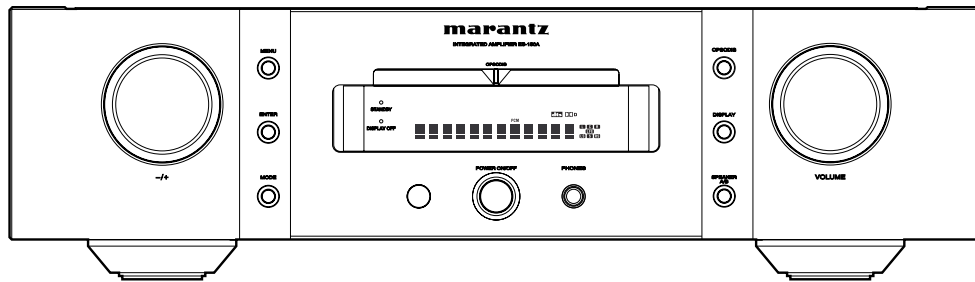
● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
● この機器は 14.5kg と重いので、開梱や持ち運びは必ず２人以上で行ってください。けがの原因となることがあります。
● この機器の上に物を置かないでください。この機器の上には通気孔があります。通気孔をふさぐと中に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● 使用中および使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどの恐れがあり、危険です。特に上面など高温部には触れないでください。

主な特長

ES-150A はマランツのフラッグシップモデル PM-11S1 のデザインコンセプトを正当に受け継ぐ OPSODIS 搭載のデジタルアンプです。

機能

● OPSODIS

英国のサウサンプトン大学と鹿島技術研究所で開発した世界初の OPSODIS プロセッサーを搭載した製品です。

理想的な立体音響は

1. 空間性をもつ三次元の音像、音響空間。
2. あらゆる方向（遠近・上下・前後・左右）から聞こえる。
3. 音の空間移動がある。

になりますが、現在のステレオやマルチスピーカーサラウンドは

1. 空間性はスピーカーの位置に依存する。
2. 前後左右のスピーカーを結ぶ同一線上の音像になる。
3. 遠近・上下・前後のスピーカーの位置に支配される。

という問題点があります。
これらに対して 2ch 立体音響のマルチスピーカーサラウンドに対する音場的な優位性は

1. 自然な音場感、連続的な移動感（スピーカーからスピーカーという点から点への瞬時移動ではない）。
2. スピーカー特性の均一化（仮想サラウンドスピーカーはフロントスピーカーと全く同一な特性を有す）。
3. 低域の位相干渉（複数のスピーカーによるピークやディップ）がない。

があります。しかし、これまでの立体音響技術には

1. 後方定位しにくい。
2. 方式により快適なリスニングポイントが狭く音色が変化する。逆相感の不快な音を感じる。
3. 方式により理論的には無響室が必要とされ、部屋の反射条件などによりサラウンド効果が大きく変化する。
4. 空間性がスピーカーの位置に依存する。

などの欠点があります。こうした問題を全て解決し、理想の立体音響を実現したのが **OPSODIS** です。

OPSODIS の特徴は、一般的なバーチャルサラウンドに比べて以下の優位性があります。

1. 前方の専用スピーカーのみで、全方向の音を再現可能。
2. 音色の変化がほとんどないので、自然な音質が得られる。
3. リスニングポイントを外れても逆相感のような不快感がない。
4. 部屋の状況や壁の反射の影響を受けにくい。

アンプ部

● デジタルアンプ

音質で定評のある D2 オーディオ社の MXS シリーズのデジタルアンプを弊社と共同で音質改善をしたカスタム品を搭載しており、入力段から出力段まで完全デジタルで動作しています。非常にコンパクトでありますが、100W × 2ch（6 Ω）の出力が得られます。

電源

● 電源トランス

電源トランス特有の振動と漏洩磁束の少ない新開発のトロイダル型電源トランスを搭載しました。リング状コアの材料と製造工程を厳しく管理することで振動を軽減し、トランスの外周にリングコアとショートリングを巻くことで漏洩磁束を軽減しています。

● スイッチング電源

上記のトロイダルトランスはアンプ部とプリアンプ部だけに使用し、デジタル部の電源には専用のスイッチング電源を採用し、供給する電源はアナログ回路とデジタル回路を完全に分離しております。

その他の特徴

- COAX. 入力と OPT. 入力は Dolby Digital 5.1ch、DTS および AAC 入力に対応。
- 2ch ソースは Dolby PLⅡ に対応。
  （Digital 入力にも対応します）
- バイノーラル録音※のソースをフロントスピーカーで体験できる 3D モード機能。

  ※バイノーラル録音とは、人間の頭や耳の形をしたダミーヘッドの耳の部分に２本のマイクロホンをセットして録音した方式をいいます。
  その音源をヘッドホンで聞くと、音源の前後左右上下方向や距離感がリアルに再現できますが、バイノーラル録音されたソースはヘッドホンでしか大きな効果を得られません。
  本機は ES − 150S（OPSODIS 専用スピーカー）との組み合わせでヘッドホン使用時と同等以上の立体音響効果を得ることができます。
- マルチチャンネルスーパーオーディオ CD の再生に対応したアナログ 5.1ch 入力に対応。
- 32 ビット最新 DSP を３系統使用（1 系統は Dolby/DTS/AAC/PCM のデコードに使用。残りの２系統は OPSODIS 処理専用に使用。）

• DOLBY

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号及び“AAC”ロゴは、ドルビーラボラトリーズの商標です。

• AAC（Advanced Audio Coding）

BS デジタル放送および地上波デジタル放送が採用している音声方式で、MPEG2 規格のひとつです。高圧縮率と高音質が特長で、2CH ステレオ音声に加え、5.1CH サラウンド音声や多言語放送を可能にしています。以下はパテントナンバーです。

5848391	5,291,557	5,451,954	5 400 433	5,222,189
5,357,594	5 752 225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5 297 236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821	08/937,950	05-183,988	08/506,729
08/576,495	08/392,756			

• DTS

DTS および DTS VIRTUAL は、Digital Theater System, Inc.の登録商標です。

• OPSODIS

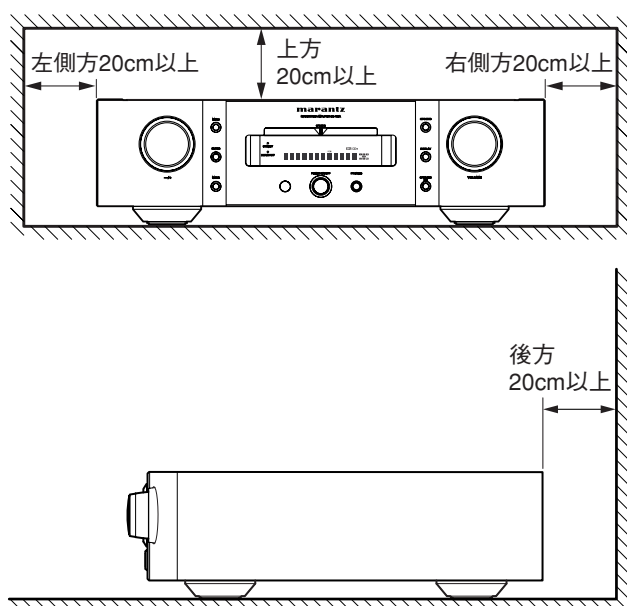
OPSODIS IS A TRADEMARK USED UNDER LICENSE BY OPSODIS LTD.

ご使用の前に

■ 次のような場所には置かない

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器に近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- 天地の狭いオーディオラックなど放熱を妨げる所

  放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。

■ 上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。通風孔をふさぐと事故や故障の原因になります。

■ 使用中・使用直後に上面などの高温部には触れない

使用中と使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。 やけどのおそれがあり危険です。 特に上面などの高温部には触れないでください。

■ ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流 100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域または 60Hz 地域でご使用できます。

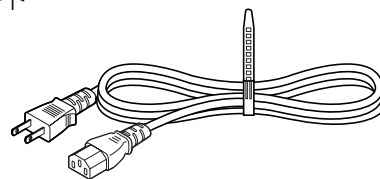
■ 乾電池の取扱いかた

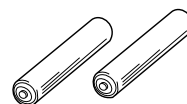
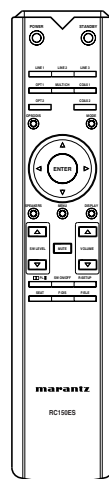
乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります。
以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しない時は、電池を取り出しておいてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
- 乾電池のプラス＋とマイナスーの向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液もれを起こした時は、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

■ 付属品の確認

ご使用の前に下記の付属品が揃っていることをご確認ください。

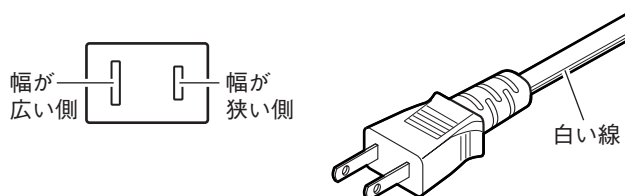
● 電源コード

製品に同梱している電源コードは、同梱されている製品のみ使用できます。同梱している製品以外には、この電源コードを使用することができません。

- リモコン RC150ES
- 単４乾電池（２本）

- 保証書
- 愛用者カード
- 取扱説明書（本書）

接続の前に

電源コードの極性

家庭用の交流電源には極性があり、本機は電源の極性を合わせることで最良の音質が得られるよう設計されています。図のように家庭用の電源コンセントは穴の幅の違いで極性が表示され、本機に付属の電源コードは「白い線」で極性が表示されています。
電源の極性を合わせて本機をお使いいただく場合は、電源コードの「白い線」で表示されている側を電源コンセントの幅が広い側に合わせて接続してください。
しかし、ご家庭の環境によっては電源コンセントに極性表示が無い場合や、逆に接続した方が好ましい場合があります。そのような場合は実際に音質をご確認のうえ最適な極性にすることをおすすめします。

ご注意
電源コードを接続する際には必ず本機の電源スイッチをOFF にしてください。

スピーカーコードの接続について

- スピーカーコードを接続する際は、ショートしないよう十分注意してください。
- スピーカーコードの被ふくは下図のように剥いでください。

コードの端から約1cmくらいの所にカッターで切り込みをいれます

コードの端の被ふくをむきとります

芯線をよじります

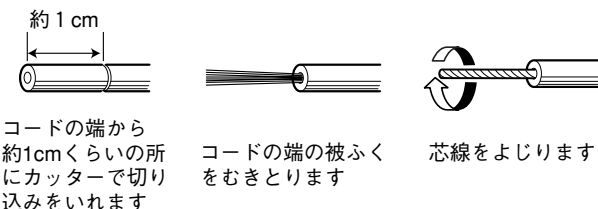
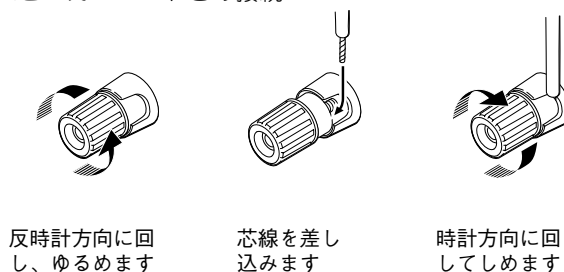
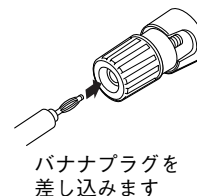
● スピーカーコードとの接続

反時計方向に回し、ゆるめます

芯線を差し込みます

時計方向に回してしめます

● バナナプラグとの接続

バナナプラグを差し込みます

お使いになるスピーカーシステムは以下の条件を満たしていることが必要です。以下の条件を満たしていない場合には、アンプの保護回路が動作し正しく再生できません。場合によってはアンプやスピーカーシステムが故障する恐れもあります。

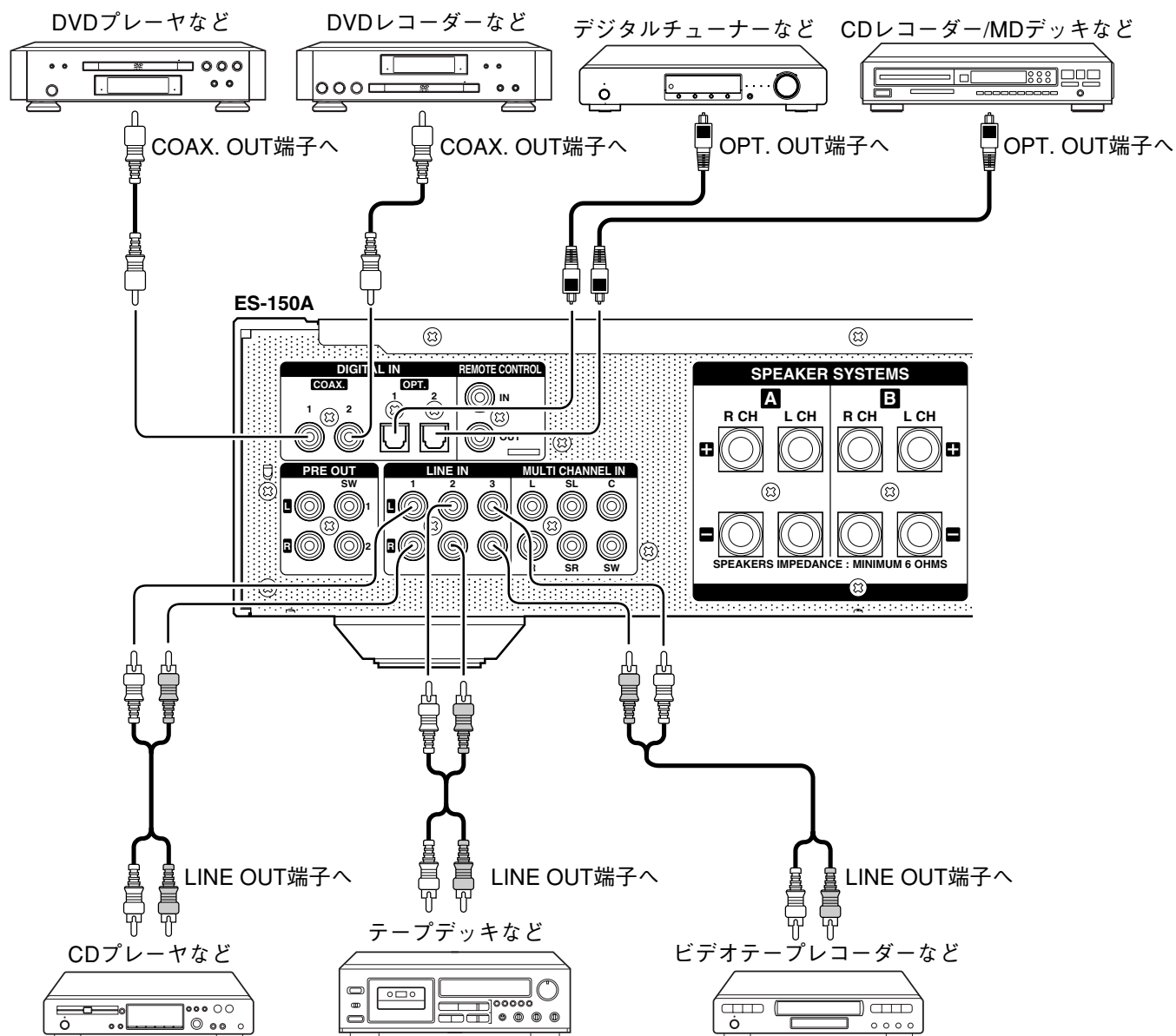
● インピーダンスが 6 Ω以上のスピーカーシステムをお使いください。

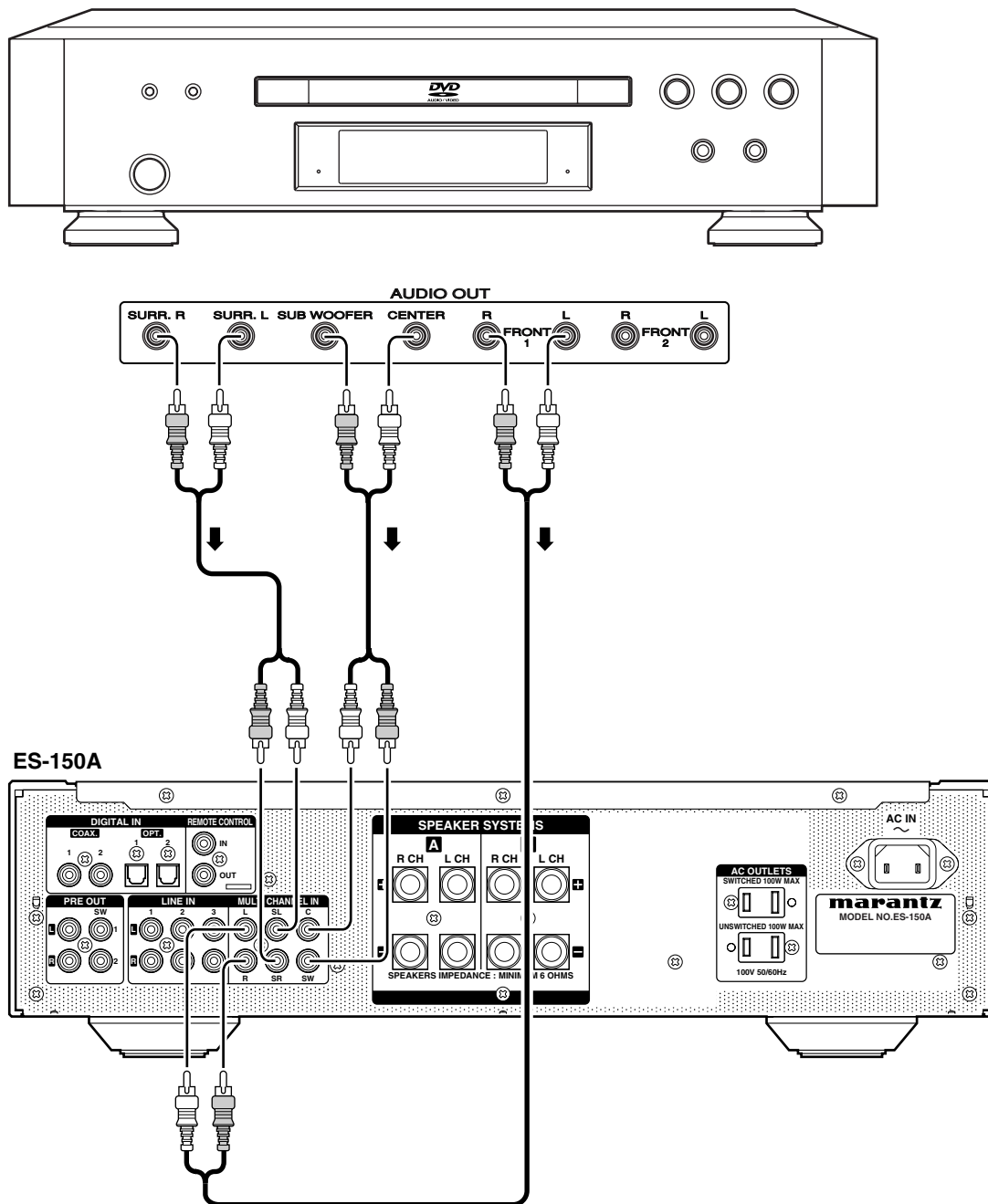
接続方法

ご注意

- 全ての接続が完全に終わるまで、本機や他の機器の電源コードを電源コンセントに差し込まないでください。
- 接続コードのプラグは確実に接続端子に挿入してください。不完全な接続は、雑音の原因となります。
- L（左）チャンネルとR（右）チャンネルを正しく接続してください。赤い端子はR（右）チャンネル、白い端子はL（左）チャンネルです。
- 入力と出力は正しく接続してください。
- 本機と接続するそれぞれの機器については、それぞれの取扱説明書を参考にしてください。
- 音声接続ケーブルと電源コードやスピーカーコードは束ねないでください。束ねると、雑音等の発生の原因となります。

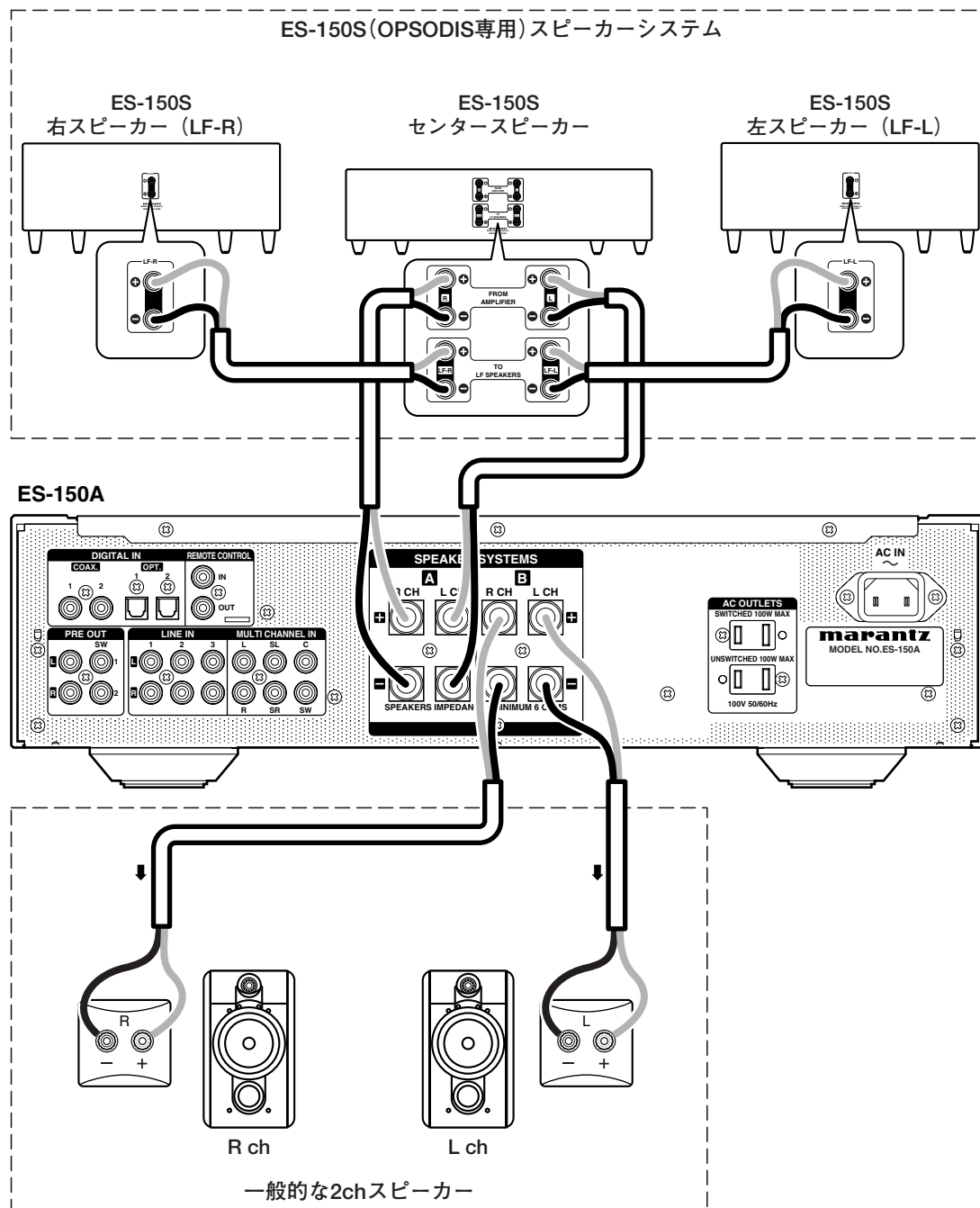
アナログ機器・デジタル機器との接続

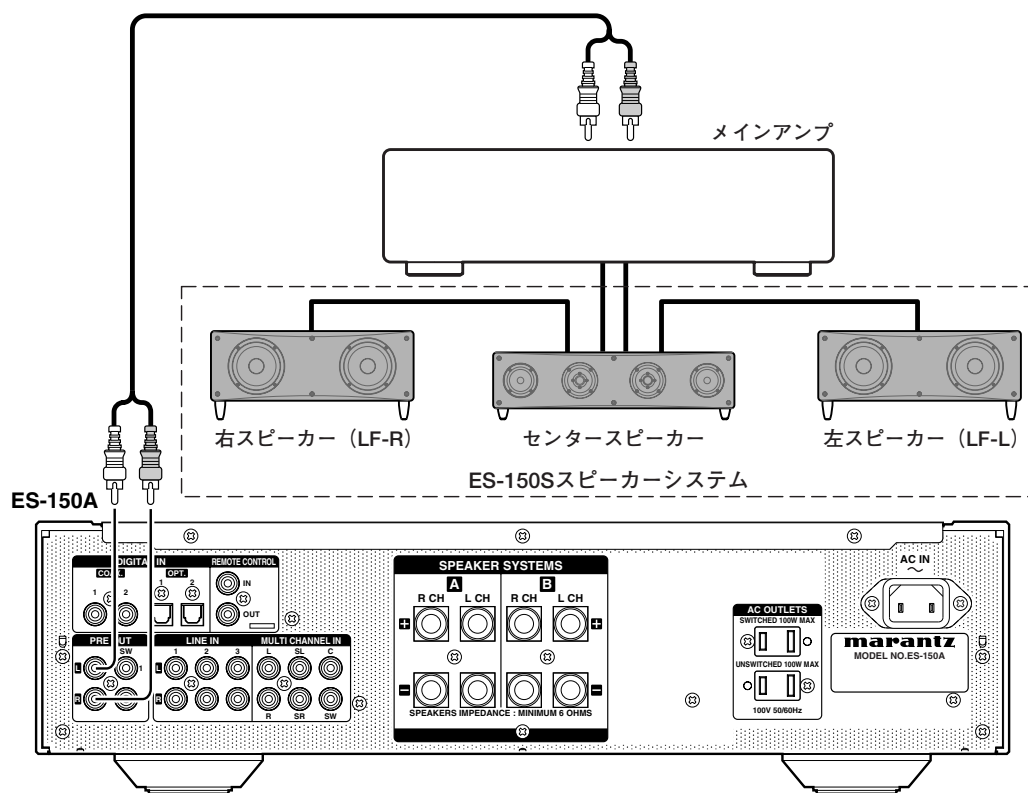
- アナログ入力端子は３系統、デジタル入力端子は４系統あります。
- COAX.1、２入力端子には 75 Ωの同軸ケーブル（デジタル音声）、OPT.1、２入力端子では光ケーブルをご使用ください。

マルチチャンネル対応機器との接続

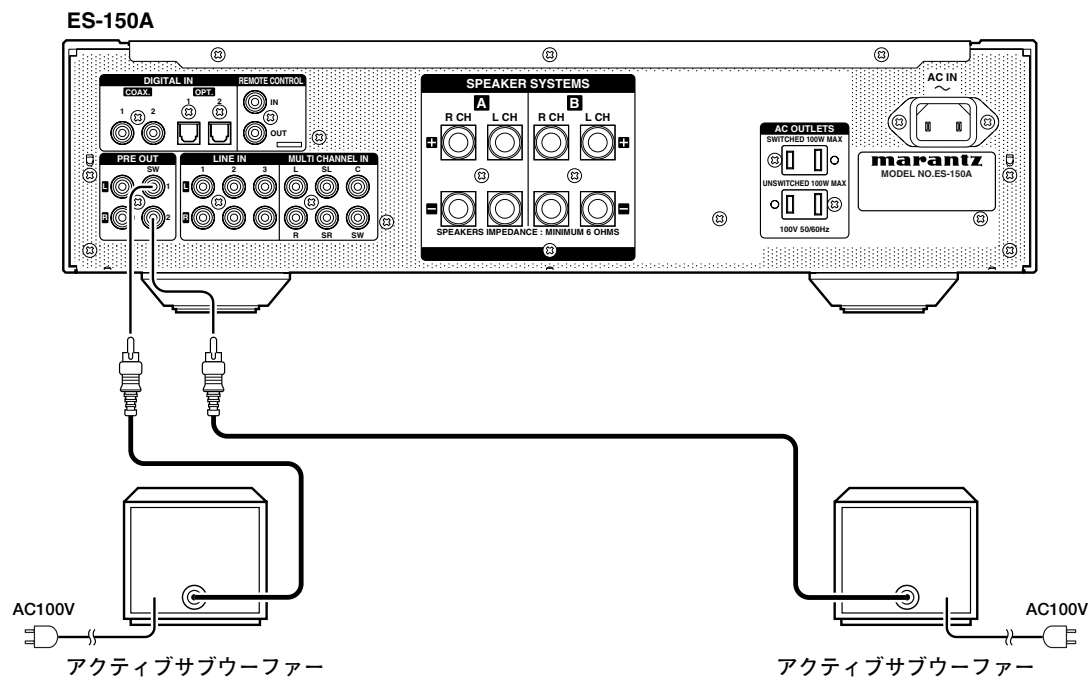
マルチチャンネル対応機器と接続したときの例です。

スピーカーとの接続

SPEAKER A にはES-150S スピーカーシステム、SPEAKER B には一般的な 2ch スピーカーを接続した例です。

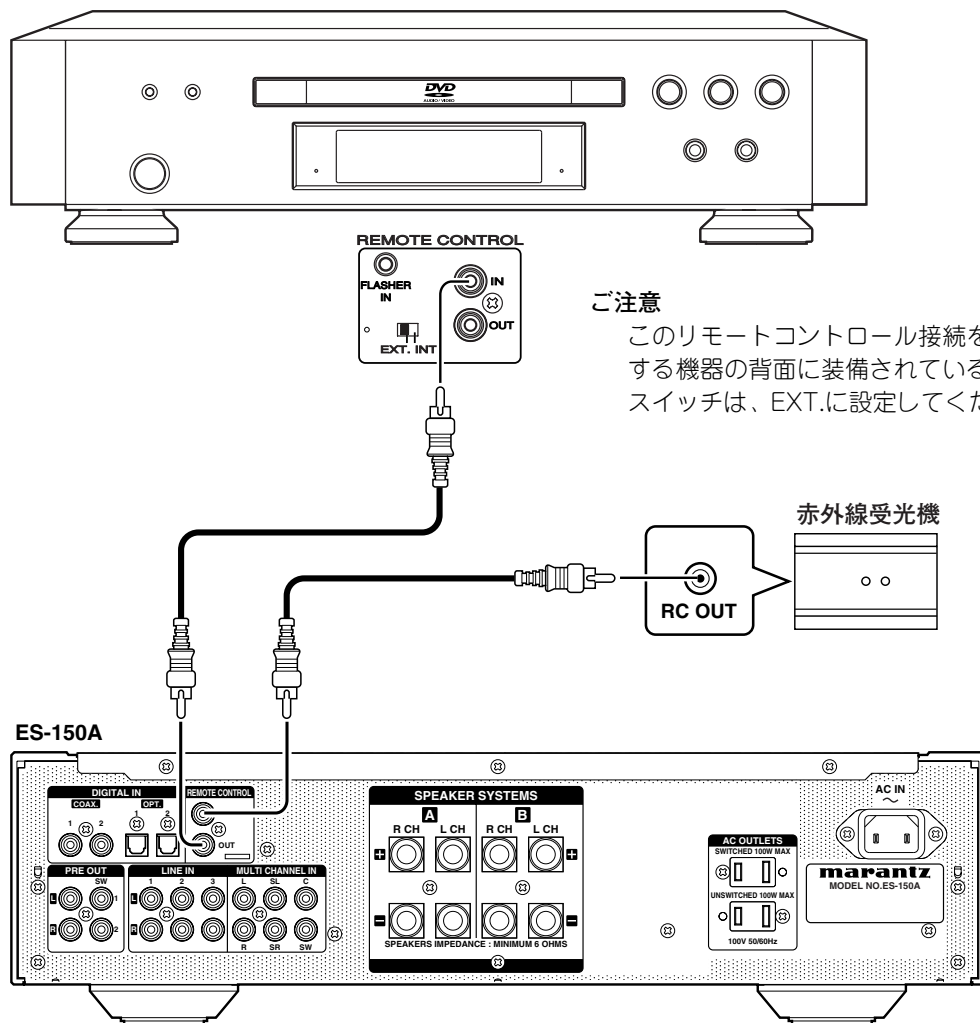
ご注意

- スピーカーケーブルを接続するとき、極性を必ず確認してください。
  逆極性で接続すると、ES-150S の場合、OPSODIS の効果がなくなります。

プリアウト出力の接続

プリアウト出力の場合の出力例です。

サブウーファーの接続

アクティブ（パワーアンプ内蔵）サブウーファーとの接続は、本機のサブウーファー用音声出力端子を使用してください。
詳細な接続は、ご使用のサブウーファーの取扱説明書をお読みください。

リモートコントロール端子

リモートコントロール端子はマランツ製DVDプレーヤーやスーパーオーディオCDプレーヤーやCDプレーヤーなどリモートコントロール端子を持つ機器と接続する端子で、別売のシステムリモコン（モデルRC1400）をご使用になりDVDプレーヤーなどとシステムコントロールすることができます。

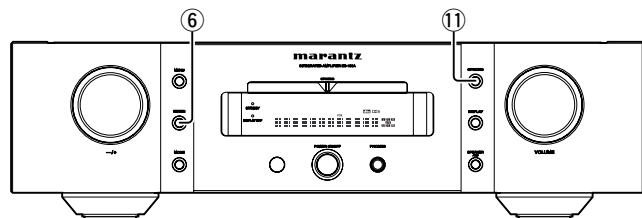
REMOTE CONTROL
FLASHER IN
IN
OUT
EXT. INT

ご注意

このリモートコントロール接続を行う場合、本機と接続する機器の背面に装備されているリモートコントロールスイッチは、EXT.に設定してください。

赤外線受光機

RC OUT

ES-150A

本機のREMOTE CONTROL IN端子に外付けの赤外線受光機などを接続して操作する場合、必ず以下の手順に従って本機の赤外受光部の動作を無効にしてください。

1. **ENTER**ボタン⑥と**OPSODIS**ボタン⑪を同時に5秒間押し続けます。
2. 本体表示部にIR DISABLEが表示されると、本機での赤外受光部の動作は無効となります。

IR DISABLE

3. 元の設定に戻すには、再度、**ENTER**ボタン⑥と**OPSODIS**ボタン⑪を同時に5秒間押し続けます。
4. 本体表示部にIR ENABLEが表示されると、本機での赤外受光部の動作は有効になります。

IR ENABLE

ご注意

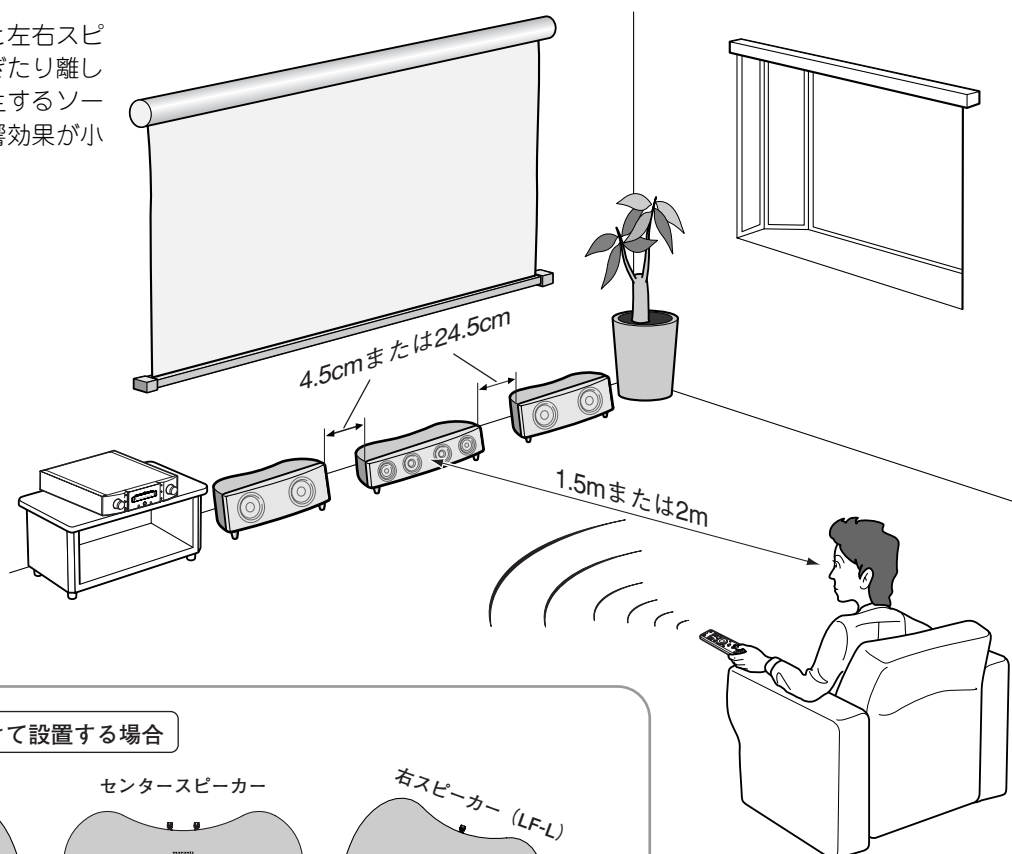
本機に外付け赤外線受光機などが接続されていない場合は、必ず「IR ENABLE」に設定してください。

スピーカーの設置

本機ではスピーカーの設置場所とリスニングポイントとの距離は 2m にすることをお勧めしますが、1.5m にすることも可能です。それぞれの距離によってセンタースピーカーと左右スピーカーの間隔を調整する必要があります。

- **スピーカーとリスニングポイントの距離が 1.5m の場合はスピーカー間の距離を 4.5cm にしてください。**
- **スピーカーとリスニングポイントの距離が 2m の場合はスピーカー間の距離を 24.5cm にしてください。**

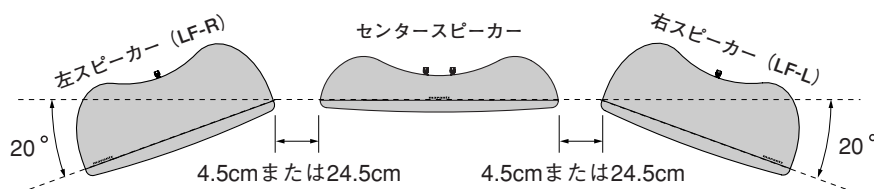
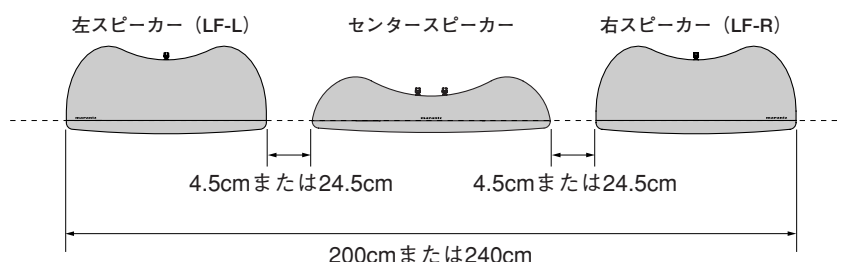
ご注意

センタースピーカーと左右スピーカーの間隔が近すぎたり離しすぎたりすると、再生するソースによっては立体音響効果が小さくなります。

設置例①　角度をつけて設置する場合

設置例②　横に一直線に並べて設置する場合

左スピーカー（LF-L）　センタースピーカー　右スピーカー（LF-R）

4.5cmまたは24.5cm　4.5cmまたは24.5cm

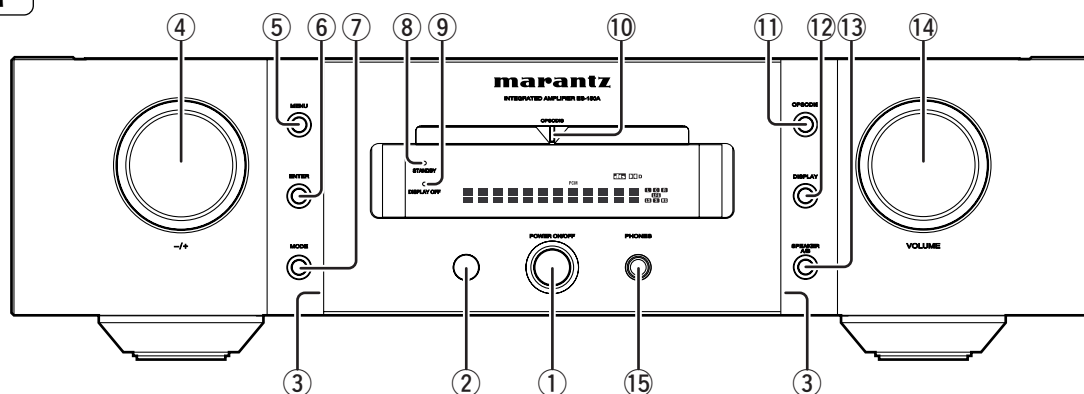
200cmまたは240cm

※どちらの設置例を参照して設置するかは設置する環境に合わせて設置してください。

- スピーカー設置時の寸法は 35 ページのスピーカー設置寸法図を参照してください。
- スピーカーを設置した角度にあわせて本体の設定が必要になります。詳しくは 25 ページの「低域スピーカー（LF-L/R）の向き設定」をご覧ください。

本体にて下記の内容を設定することができます。

- Pro Logic Ⅱ の設定（22 ページ）
- 仮想フロントスピーカーの高さ設定（23 ページ）
- 仮想スピーカーのＬ／Ｒ間の距離設定（24 ページ）
- 低域スピーカー（LF-L/R）の向き設定（25 ページ）
- OPSODIS フィルターの設定（26 ページ）
- 仮想サラウンドスピーカーの位置設定（27 ページ）
- サブウーファーのオン／オフ（28 ページ）
- サブウーファーのレベル調整（29 ページ）
- バイリンガルの設定（30 ページ）

各部の名称とはたらき

前　面

① POWER ON ／ OFF ボタン

このスイッチを押すと、本機の主電源が入ります。もう一度押すと主電源が切れます。
主電源が入っている状態でリモコンによるパワーオン／スタンバイの切り替えが可能です。
本機が電源スタンバイ状態のときに STANDBY インジケーターが点灯します。
このスイッチを押して約８秒後、音が出る状態になります。

② 赤外線受光窓

付属のリモコン（RC150ES）からのコントロール信号を受光する窓です。
リモコンをこの窓に向けて操作してください。

③ イルミネーションランプ

DISPLAY ボタンを３秒以上押して、連動点灯モード／常時消灯モードを切り替えます。
イルミネーションランプの設定のしかた（31 ページ）を参照してください。

④ ー/十つまみ

入力ソースおよび設定項目を選択するときに回します。
入力ソース名、設定項目はディスプレイに表示されます。
設定項目については機能の使い方と設定のしかた（22 ～ 30 ページ）を参照してください。

⑤ MENU ボタン

機能の使い方と設定のしかた（22 ～ 30 ページ）の項目を選択するときに押します。

⑥ ENTER ボタン

機能の使い方と設定のしかた（22 ～ 30 ページ）の項目を決定するときに押します。

⑦ MODE ボタン

SURR（サラウンド）／ 3D を切り替えるときに押します。

ご注意

- サラウンドモードと 3D モードは OPSODIS オンの状態で有効となります。（ヘッドホンを接続しているときは無効になります）
- 3D モードはバイノーラルで録音された音源をお聞きになる時にご使用ください

⑧ STANDBY インジケーター

スタンバイ状態のとき、赤く点灯します。
スタンバイ状態のときリモコンの POWER ボタンまたは本体の ENTER ボタンを押すと、電源がオンになります。
電源オン状態のときリモコンの STANDBY ボタンを押すと、スタンバイ状態になります。

⑨ DISPLAY OFF インジケーター

ディスプレイオフのとき、緑色のインジケーターが点灯します。

⑩ OPSODIS インジケーター

OPSODIS がオンのとき、青色のインジケーターが点灯します。

⑪ OPSODIS ボタン

OPSODIS のオン／オフを切り替えるときに押します。

ご注意

ヘッドホン接続時は操作できません。

⑫ DISPLAY ボタン

ディスプレイに表示する内容を切り替えるときに押します。
インプットモード表示、サラウンドモード表示、入力信号表示、表示オフの表示変更ができます。
このボタンを３秒以上押すと、イルミネーションランプの連動点灯モード／常時消灯モードを切り替えます。

⑬ SPEAKER A ／ B ボタン

スピーカー出力 A ／ B ／ OFF を切り替えるときに押します。

⑭ VOLUME つまみ

音量を調整します。
音量のレベルはディスプレイに表示されます。
つまみを時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと音量が小さくなります。

ご注意

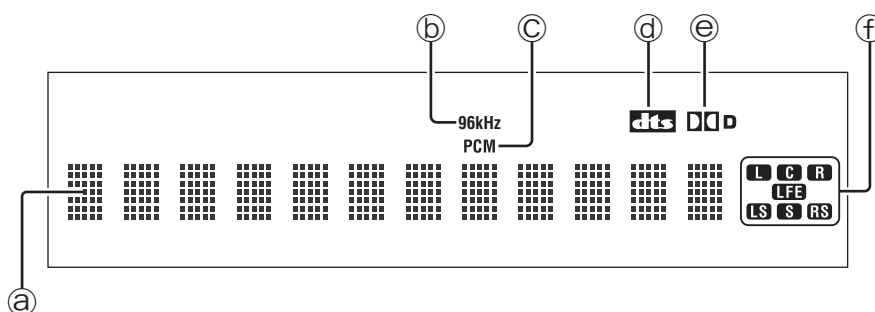
最大＋ 18dB までコントロールできますが、SW Level が＋ 1dB 以上に設定している時は、＋ 18dB までコントロールできません。
また、＋ 11dB 以上で主電源を切り、再度主電源を入れたときは、＋ 10dB になります。

⑮ PHONES 端子

ステレオ標準プラグのヘッドホンを接続する端子です。この端子にヘッドホンを接続すると、スピーカー出力とサブウーファー出力からの音声は自動的に無音になります。
ヘッドホンの音量調節は VOLUME つまみで調整してください。

ご注意

ヘッドホンを接続する時は音量を十分に下げてからご使用ください。

表示部

ⓐ 主要情報用の表示部

選択した入力ソース名、設定状況および音量を表示します。

インプットディスプレイ表示

OPT1 -34dB

選択されている入力名と音量レベルが表示されます。

サラウンドディスプレイ表示

SURR -34dB

サラウンド／3D モードと音量レベルが表示されます。

入力信号モード表示

DOLBY -34dB

入力信号の種類（DOLBY、DTS、AAC、PCM、ANALOG）と音量レベルが表示されます。

ディスプレイオフ表示

DISPLAY OFF

ディスプレイオフのとき、約2秒間上記を表示をした後に DISPLAY OFF インジケーターが点灯します。それと同時にディスプレイとイルミネーションランプ、OPSODIS インジケーターが消灯します。

ⓑ 96 kHz

入力されたデジタル信号の fs（サンプリング周波数）が 96kHz で入力されている時に点灯します。

ご注意

本機は fs: 32kHz、44.1kHz、48kHz に対応しています。96kHz が点灯しているときは、入力機器（DVD プレーヤーなど）のデジタル出力を fs 48kHz にダウンサンプリングしてください。（fs の設定方法は入力機器の取扱説明書をご覧ください）

ⓒ PCM

PCM 信号が入力されたときに点灯します。

ⓓ DTS

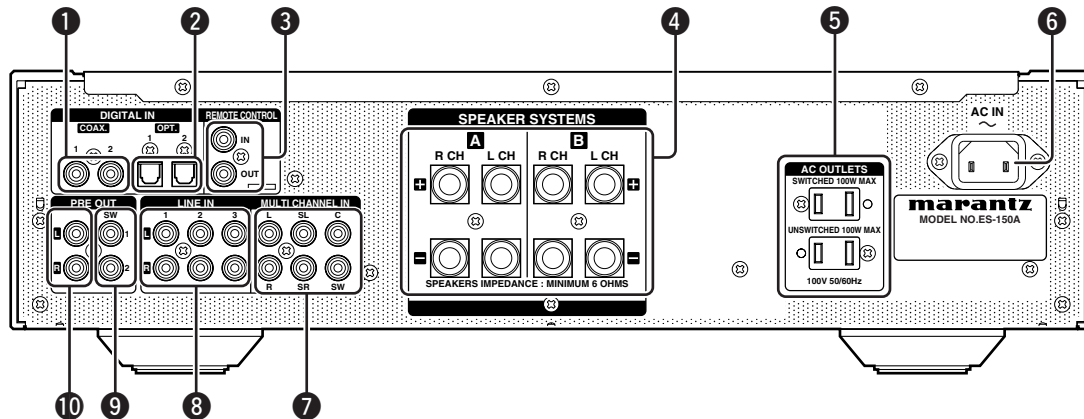
DTS 信号が入力されたときに点灯します。

ⓔ DD

Dolby Digital 信号が入力されたときに点灯します。

ⓕ L、C、R、LFE、LS、S、RS

デジタル入力信号を再生時、入力信号の記録チャンネルを表示します。

背　面

❶ COAX.1 ／ COAX. 2 入力端子

DVD、DVD-R、TV チューナーなどのデジタル同軸出力端子と接続する端子です。

❷ OPT.1 ／ OPT. 2 入力端子

DVD、DVD-R、TV チューナーなどのデジタル光出力端子と接続する端子です。

❸ REMOTE CONTROL 入出力端子

マランツ製スーパーオーディオ CD プレーヤーや DVD プレーヤーなどのリモートコントロールを持つ機器と接続する端子です。

❹ SPEAKER SYSTEMS 出力端子

別売りのスピーカーシステム（ES-150S）を接続する端子です。
前面パネルの SPEAKER A ／ B ボタンでスピーカー出力 A ／ B を切り替えます。

ご注意

スピーカーケーブルを端子に接続する際、芯線部がシャーシや他の金属部に接触しないようにご注意ください。
金属部に接触したまま電源を入れますと故障の原因になります。

❺ AC アウトレット（SWITCHED/UNSWITCHED）

本機の AC アウトレットから他の AV 機器に電源を供給できます。
本機は 2 系統の AC アウトレットを装備しています。

SWITCHED（スイッチド：連動）

本機の電源 ON ／スタンバイに連動し、電源供給を ON ／ OFF します。
消費電力が最大 100W までの機器を接続できます。

UNSWITCHED（アンスイッチド：非連動）

本機の電源 ON ／スタンバイに関係なく、電源供給をします。
消費電力が最大 100W までの機器を接続できます。

警告

許容電力 100W 以上の機器を接続しないで下さい。
許容電力以上の機器を接続すると、火災・感電の原因となります。

❻ 電源コード接続端子

付属の電源コードを接続し、家庭用交流 100V(50/60Hz) のコンセントに電源プラグを差し込みます。

❼ MULTI CHANNEL 入力端子

DVD、スーパーオーディオ CD などのアナログ 5.1 チャンネル出力端子と接続する端子です。

❽ LINE IN 1 ／ 2 ／ 3 入力端子

ビデオデッキ、MD デッキ、テープデッキなどのアナログ出力端子と接続する端子です。

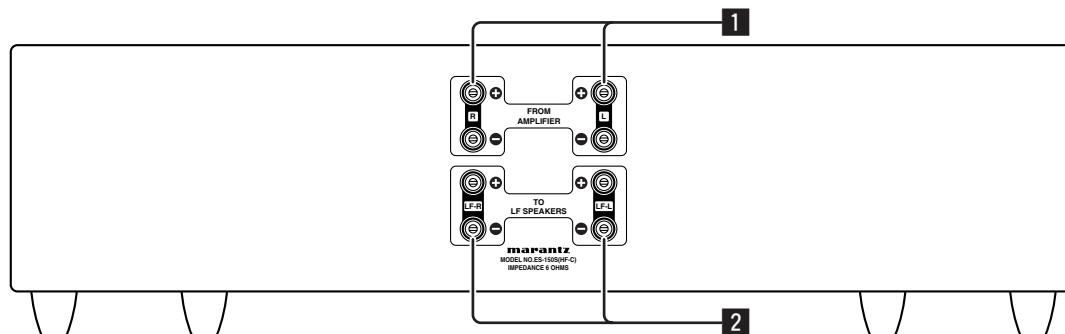
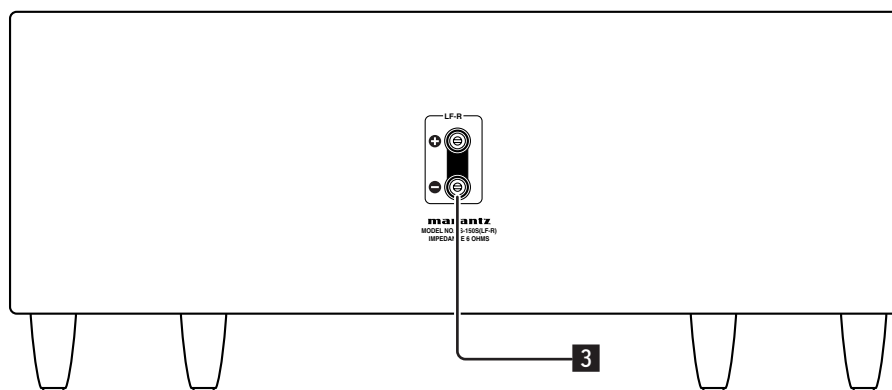
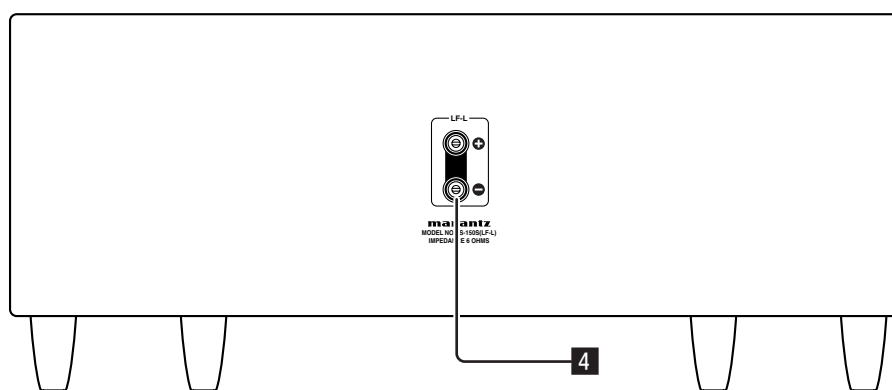
❾ SW1 ／ 2 出力端子

アクティブ（パワーアンプ内蔵）サブウーファーの入力端子に接続する端子です。
SUB WOOFER 1 と 2 は同じ出力です。

❿ PRE OUT L ／ R 出力端子

外部のメインアンプの入力端子と接続する端子です。

スピーカー： ES-150S

● センタースピーカー（HF-C）

● 右スピーカー（LF-R）

● 左スピーカー（LF-L）

1 センタースピーカー端子（FROM AMPLIFIER）

ES-150A のスピーカー端子 A に接続してください。
（11 ページ）

2 センタースピーカー端子（TO LF SPEAKER）

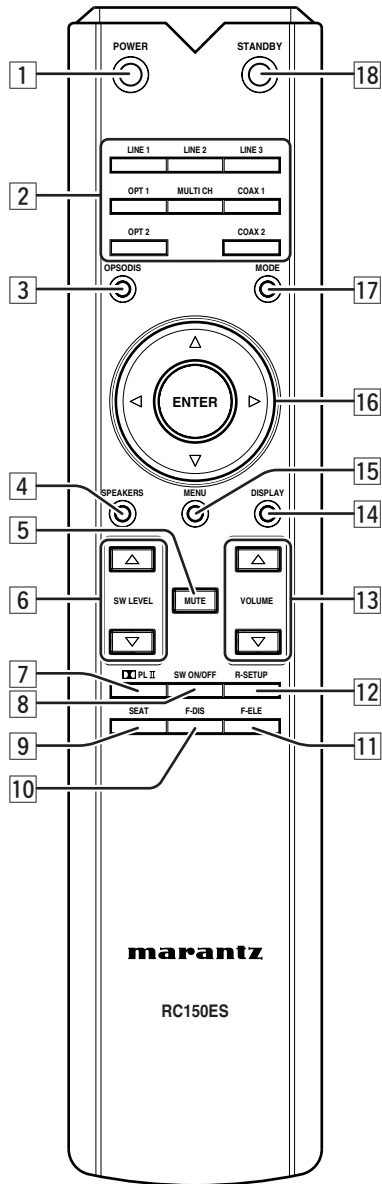
LF-R/LF-L のスピーカー端子に接続してください。

3 LF-R スピーカー端子

センタースピーカーの LF-R 端子に接続してください。

4 LF-L スピーカー端子

センタースピーカーの LF-L 端子に接続してください。

リモコン： RC150ES

1 POWER ボタン

スタンバイ状態でこのボタンを押すと、電源がオンになります。

2 INPUT SELECT のボタン

再生する入力ソースを選択するボタンのグループです。各入力ソースを直接選択できます。

3 OPSODIS ボタン

OPSODIS のオン／オフを切り替えるときに押します。OPSODIS がオンのとき、フロントパネル中央の OPSODIS インジケーターは青色に点灯します。

ご注意

OPSODIS がオフのとき、バーチャルの効果がなくなり、全ての入力が 2 チャンネルにダウンミックスされます。また、ヘッドホン接続時は OPSODIS OFF になります。

4 SPEAKERS ボタン

スピーカー出力 A ／ B ／ OFF を切り替えるときに押します。

5 MUTE ボタン

スピーカー出力とプリアウト出力のオン／オフを切り替えるときに押します。

6 SW LEVEL アップ／ダウン ボタン

サブウーファーの出力レベルをコントロールします。

7 PL II ボタン

Pro Logic II MOVIE ／ Pro Logic II MUSIC ／ OFF の切り替えを行います。

8 SW ON ／ OFF ボタン

サブウーファー出力のオン／オフを行います。

9 SEAT ボタン

OPSODIS フィルターを設定します。

10 F-DIS ボタン

仮想フロントスピーカー間の距離を設定します。

11 F-ELE ボタン

仮想フロントスピーカーの高さ（音が聞こえてくる高さ）を設定します。

12 R-SETUP ボタン

仮想サラウンドスピーカーから聞こえてくる音の方向をを設定できます。

⑬ VOLUME ボタン

音量を調整します。
音量のレベルはディスプレイに表示されます。

⑭ DISPLAY ボタン

ディスプレイに表示する内容を切り替えるときに押します。インプットモード表示、サラウンドモード表示、入力信号表示、表示オフの表示変更ができます。

⑮ MENU ボタン

機能の使い方と設定のしかた（22 ページ）の項目を選択するときに押します。

⑯ カーソルボタン

ENTER
メニューボタンを押した後に、カーソルボタンのグループで設定項目を選択するときに押します。

▲ ▼ ▶ ◀
設定項目を設定／変更するときに使用します。

⑰ MODE ボタン

SURR（サラウンド）／ 3D を切り替えるときに押します。

ご注意
- サラウンドモードと 3D モードは OPSODIS オンの状態で有効となります。
- 3D モードはバイノーラルで録音された音源をお聞きになる時にご使用ください

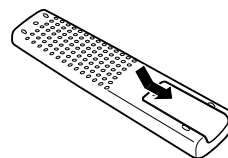
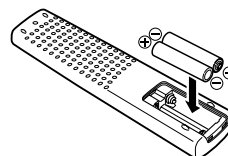
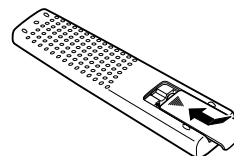
⑱ STANDBY ボタン

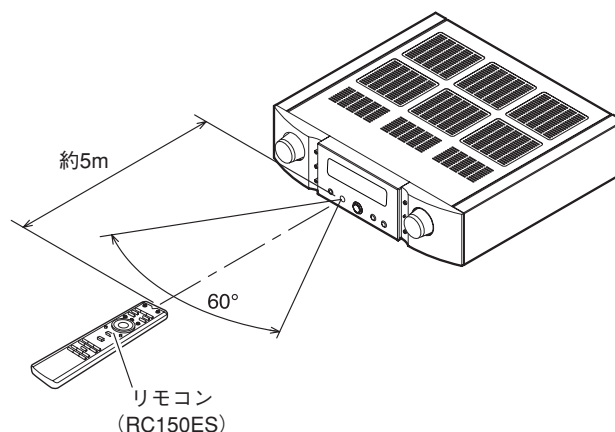
電源オン状態でこのボタンを押すと、スタンバイ状態になります。

■ リモコンの使用について

●リモコンに乾電池を入れる

付属のリモコンを最初にご使用になる前に、リモコンに乾電池を入れてください。
付属の乾電池はリモコンの動作確認用です。

① 裏面フタの凹んでいる部分を押しながら、矢印の方向へ開きます。

② 新しい単４乾電池２本を、極性表示（⊕:プラスと ⊖:マイナスの向き）に注意し、表示通りに正しく入れます。

③ 電池フタを矢印の方向へ押して閉めます。

●リモコンの動作範囲

リモコンによる本体の操作可能範囲は下図のように約 5m の距離です。

●使用上の注意

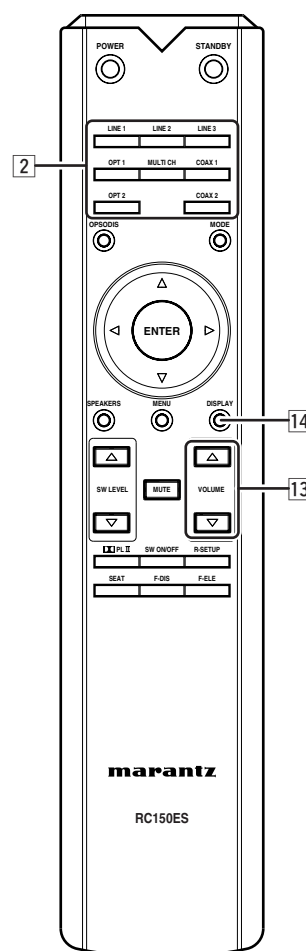
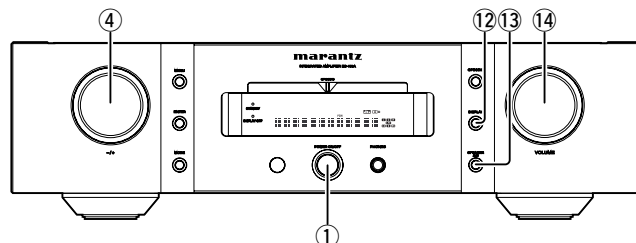
- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。 リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で操作する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

基本的な使い方

再生のしかた

代表的な例としてDVDプレーヤーでディスクを再生する手順を説明します。
接続方法を参照し機器が正しく本機に接続されていることを確認してください。

■ DVDプレーヤーによるディスク再生

1. DVDプレーヤーのPOWER ON/OFFスイッチを押して電源を入れます。
2. 本機の **POWER ON/OFF** ボタン①を押して電源を入れます。
3. 本機の **ー/＋** つまみ④、またはリモコンの **INPUT SELECT** ボタングループ [2] で再生する入力ソースを選択します。
4. SPEAKER SYSTEMSのA端子に接続しているスピーカーをお使いになる場合は、本体の **SPEAKER A／B** ボタン⑬を押してスピーカー出力Aにしてください。
   SPEAKER SYSTEMSのB端子に接続しているスピーカーをお使いになる場合は、本体の **SPEAKER A／B** ボタン⑬を押してスピーカー出力Bにしてください。
5. DVDプレーヤーにディスクを入れ、PLAYボタンを押し再生します。
6. 本機の **VOLUME** つまみ⑭、またはリモコンの **VOLUME** ▲/▼ボタン [13] で音量を調整します。
7. お部屋の雰囲気に合わせてディスプレイとイルミネーションランプを点灯/消灯することができます。
   本機の **DISPLAY** ボタン⑫またはリモコンの **DISPLAY** ボタン [14] を押してください。

機能の使い方と設定のしかた

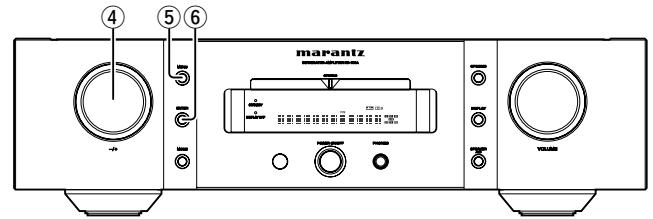
Pro Logic Ⅱの設定

Dolby Pro Logic Ⅱでの音場環境を設定します。
設定できる項目は下記のとおりです。

PL Ⅱ MUSIC：
このモードでは、CD、テープ、FMなど従来型のステレオソースから立体音響が得られます。

PL Ⅱ MOVIE：
このモードではDolby Surroundエンコードされたステレオ映画のサウンドトラックから立体音響が得られます。

OFF ：
Dolby Pro Logic Ⅱの効果はなくなります

ご注意
ここで設定した内容はLINE1、2、3からのアナログ入力および、デジタル2ch入力時に有効になります。
また、3Dモードでは常時OFFになります。

■ フロントパネルでの設定

1. **MENU**ボタン⑤を押します。
2. **ー/＋**つまみ④を回します。

```
DOLBY PLⅡ
```

3. DOLBY PLⅡが表示されたら、**ENTER**ボタン⑥を押します。
4. **ー/＋**つまみを回し、PL Ⅱ MUSIC/PL Ⅱ MOVIE/OFFからお好みの設定を選びます。

```
PLⅡ     MUSIC
```

5. **ENTER**ボタン⑥を押し、設定を終了します。
6. **MENU**ボタン⑤を押すと、もとの表示に戻ります。

■ リモコンでの設定

1. リモコンにある**PL Ⅱ**ボタン7を押すと、現在の設定が表示されます。

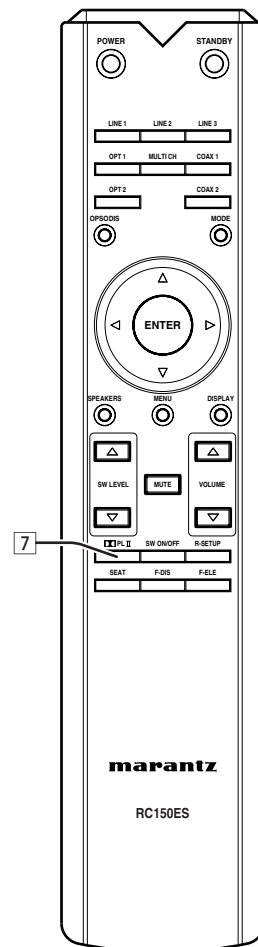
```
PLⅡ     OFF
```

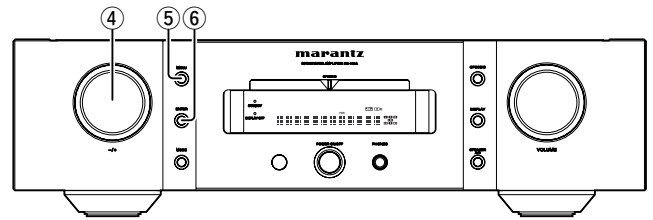
2. 連続して**PL Ⅱ**ボタン7を押して、
PL Ⅱ OFF→PL Ⅱ MOVIE→PL Ⅱ MUSICからお好みの設定を選びます。

```
PLⅡ     MUSIC
```

3. 選んだ後、設定が確定します。

ご注意
OPSODIS OFF時はリモコンでの操作はできません。

機能の使い方と設定のしかた

仮想フロントスピーカーの高さ設定

音が聞こえてくる高さを設定します。
リスニングポイントで聞きながら最適と思われる位置を３つの中からお選びください。
スピーカーを床に設置した状態でＦ－ELE －１が下方向の位置から、Ｆ－ELE ＋１が上方向の位置から音が聞こえます。

■ フロントパネルでの設定

1. **MENU** ボタン ⑤ を押します。
2. **ー/＋**つまみ ④ を回します。

```
F-ELEVATION
```

3. Ｆ－ELEVATION が表示されたら、**ENTER** ボタン ⑥ を押します。
4. **ー/＋**つまみ ④ を回し、Ｆ－ELE －１→Ｆ－ELE ０→Ｆ－ELE ＋１からお好みの設定を選びます。

```
F-ELE   0
```

5. **ENTER** ボタン ⑥ を押し、設定を終了します。
6. **MENU** ボタン ⑤ を押すと、もとの表示に戻ります。

■ リモコンでの設定

1. リモコンにある **F － ELE** ボタン ⑪ を押すと、現在の設定が表示されます。

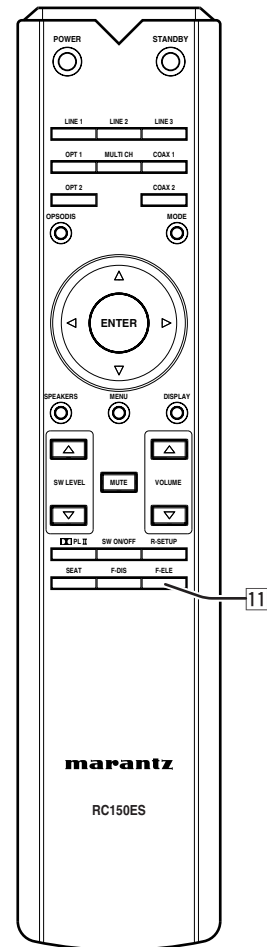
```
F-ELE -1
```

2. 連続して **F － ELE** ボタン ⑪ を押して、
Ｆ－ELE －１→Ｆ－ELE ０→Ｆ－ELE ＋１からお好みの設定を選びます。

```
F-ELE   0
```

3. 選んだ後、設定が確定します。

ご注意
OPSODIS OFF 時はリモコンでの操作はできません。

機能の使い方と設定のしかた

仮想フロントスピーカーの L/R 間の距離設定

仮想フロントスピーカー間の距離を設定します。

■ フロントパネルでの設定

1. **MENU** ボタン ⑤ を押します。
2. **ー/十**つまみ ④ を回します。

```
F-L/R DIS
```

3. F ー L/R DIS が表示されたら、**ENTER** ボタン ⑥ を押します。
4. **ー/十**つまみ ④ を回し、NARROW/NORMAL/WIDE からお好みの設定を選びます。

```
F-DIS NORMAL
```

5. **ENTER** ボタン ⑥ を押し、設定を終了します。
6. **MENU** ボタン ⑤ を押すと、もとの表示に戻ります。

■ リモコンでの設定

1. リモコンにある **F ー DIS** ボタン ⑩ を押すと、現在の設定が表示されます。

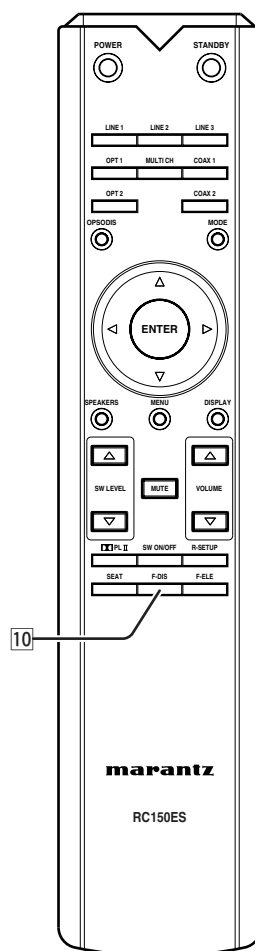
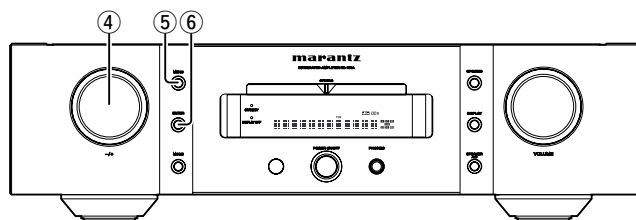
```
F-DIS WIDE
```

2. 連続して **F ー DIS** ボタン ⑩ を押して、
   F ー DIS NARROW → F ー DIS NORMAL → F ー DIS WIDE からお好みの設定を選びます。

```
F-DIS NORMAL
```

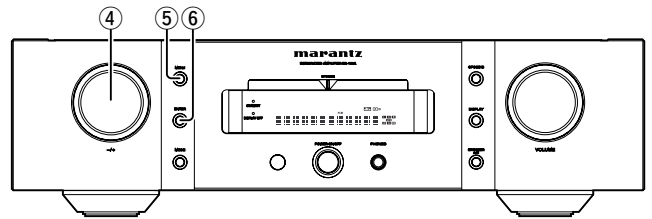
3. 選んだ後、設定が確定します。

ご注意

OPSODIS OFF 時はリモコンでの操作はできません。

低域スピーカー(LF-L/R)の向き設定

スピーカーを設置した角度にあわせて低域スピーカーの角度を設定します。(14 ページ)

LF–L/R 1 ： 低域スピーカーを内側に 20 度傾けて設置したとき

LF–L/R 2 ： 低域スピーカーをフラットに設置したとき

■ フロントパネルでの設定

1. **MENU** ボタン ⑤ を押します。
2. **ー/十**つまみ ④ を回します。

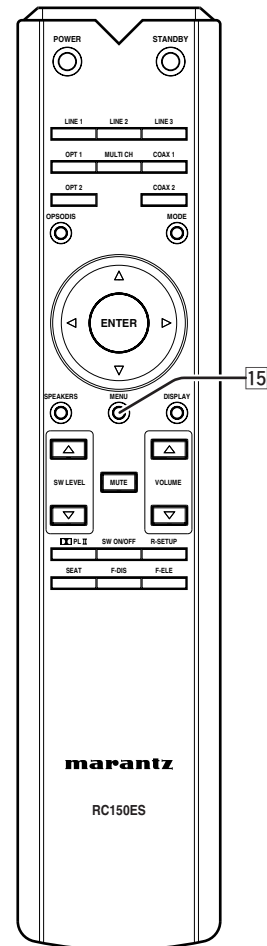
```
LF SETUP
```

3. LF SETUP が表示されたら、**ENTER** ボタン ⑥ を押します。

```
LF-L/R 1
```

4. **ー/十**つまみ ④ を回し、LF ー L/R 1 または 2 を設定します。

```
LF-L/R 2
```

5. **ENTER** ボタン ⑥ を押し、設定を終了します。
6. **MENU** ボタン ⑤ を押すと、もとの表示に戻ります。

■ リモコンでの設定

1. リモコンにある **MENU** ボタン ⑮ を押します。
2. カーソルの▲/▼ボタンを押して、LF SETUP が表示されたら **ENTER** ボタンを押します。

```
LF SETUP
```

3. LF ー L/R が表示されたら、カーソルの▲/▼ボタンを押して、LF ー L/R 1 または 2 からお好みの設定を選びます。

```
LF-L/R 2
```

4. **ENTER** ボタンを押し、設定を終了します。

OPSODIS フィルターの設定

SEAT1、SEAT2 の２種類のフィルターがあります。お勧めのフィルターは SEAT1 ですが、SEAT2 が好ましい場合もあります。リスニングポイントで聞きながら最適と思われるフィルターをお選びください。

■ フロントパネルでの設定

1. **MENU** ボタン ⑤ を押します。
2. **ー/十**つまみ ④ を回します。

SEAT POS

3. SEAT POS が表示されたら、**ENTER** ボタン ⑥ を押します。
4. **ー/十**つまみ ④ を回し、SEAT1/SEAT2 からお好みの設定を選びます。

SEAT 2

5. **ENTER** ボタン ⑥ を押し、設定を終了します。
6. **MENU** ボタン ⑤ を押すと、もとの表示に戻ります。

■ リモコンでの設定

1. リモコンにある **SEAT** ボタン⑨を押すと、現在の設定が表示されます。

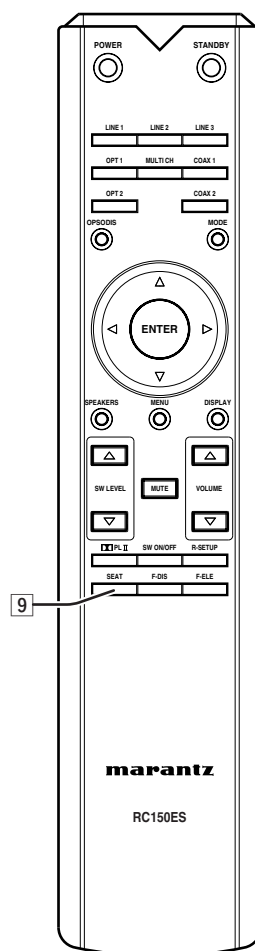
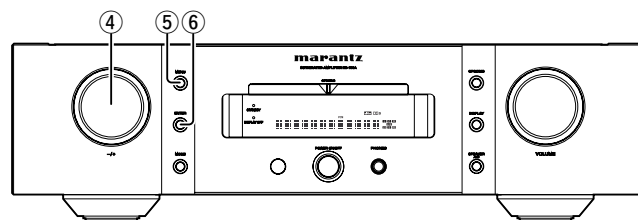
SEAT 1

2. 連続して **SEAT** ボタン⑨を押して、
SEAT 1→SEAT 2 からお好みの設定を選びます。

SEAT 2

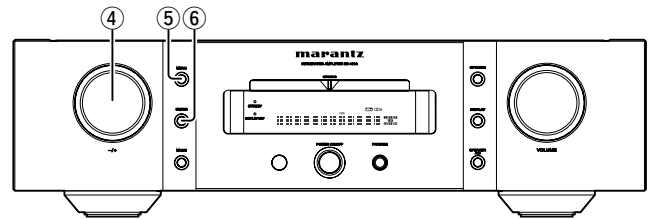
3. 選んだ後、設定が確定します。

ご注意

OPSODIS OFF 時はリモコンでの操作はできません。

仮想サラウンドスピーカーの位置調整

仮想サラウンドスピーカーから聞こえる音の方向を設定します。
設定できる項目は下記のとおりです。

BEHI ：後方向
SIDE ：横方向

ご注意
お使いになるお客さまの頭の形や耳の形によって聞こえる位置に差が発生します。

■ フロントパネルでの設定

1. **MENU** ボタン ⑤ を押します。
2. **ー/＋**つまみ ④ を回します。

```
REAR SETUP
```

3. REAR SETUP が表示されたら、**ENTER** ボタン ⑥ を押します。
4. **ー/＋**つまみ ④ を回し、R SETUP BEHI または R SETUP SIDE からお好みの設定を選びます。

```
R SETUP BEHI
```

5. **ENTER** ボタン ⑥ を押し、設定を終了します。
6. **MENU** ボタン ⑤ を押すと、もとの表示に戻ります。

■ リモコンでの設定

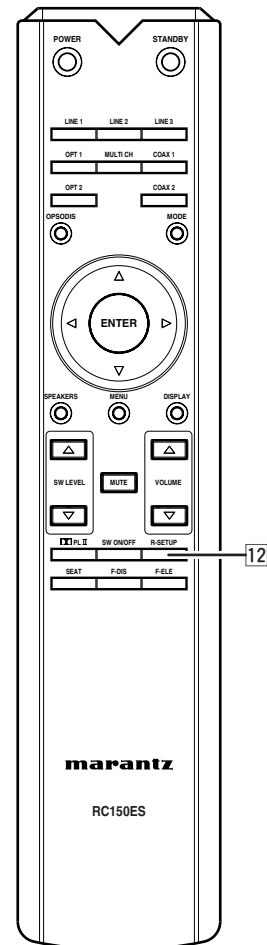
1. リモコンにある **R-SETUP** ボタン ⑫ を押すと、現在の設定が表示されます。

```
R SETUP SIDE
```

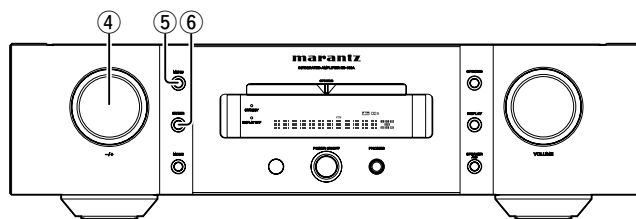
2. 連続して **R-SETUP** ボタン ⑫ を押して、
   R SETUP BEHI または R SETUP SIDE からお好みの設定を選びます。

```
R SETUP BEHI
```

3. 選んだ後、設定が確定します。

ご注意
OPSODIS OFF 時はリモコンでの操作はできません。

サブウーファーのオン／オフ

後面にあるサブウーファーの出力を設定します。
設定できる項目は下記のとおりです。

SW ON ：サブウーファーから出力されます
SW OFF ：サブウーファーから出力されません

■ フロントパネルでの設定

1. **MENU** ボタン ⑤ を押します。
2. **ー/十**つまみ ④ を回します。

```
SW ON/OFF
```

3. SW ON/OFF が表示されたら、**ENTER** ボタン ⑥ を押します。
4. **ー/十**つまみ ④ を回し、SW ON または SW OFF からお好みの設定を選びます。

```
SW  OFF
```

5. **ENTER** ボタン ⑥ を押し、設定を終了します。
6. **MENU** ボタン ⑤ を押すと、もとの表示に戻ります。

■ リモコンでの設定

1. リモコンにある **SW ON/OFF** ボタン8を押すと、現在の設定が表示されます。

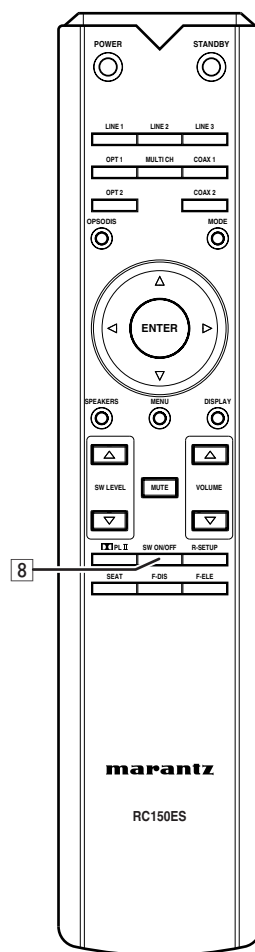
```
SW  ON
```

2. 連続して **SW ON/OFF** ボタン9を押して、
SW ON または SW OFF からお好みの設定を選びます。

```
SW  OFF
```

3. 選んだ後、設定が確定します。

ご注意

- 出荷時の設定は SW OFF になっています。SW をご使用になる時は SW ON に設定してください。
- SW ON に設定しますと、デジタル信号で LFE 成分があるときはフロントスピーカーからは低域音が少なくなります。

機能の使い方と設定のしかた

サブウーファーのレベル調整

後面にあるサブウーファー出力の音量を設定します。
音量は− 15dB から＋ 10dB まで設定することができます。

■ フロントパネルでの設定

1. **MENU** ボタン ⑤ を押します。
2. **ー/十**つまみ ④ を回します。

```
SW LEVEL
```

3. SW LEVEL が表示されたら、**ENTER** ボタン ⑥ を押します。
4. **ー/十**つまみ ④ を回し、サブウーファーの音量を設定します。

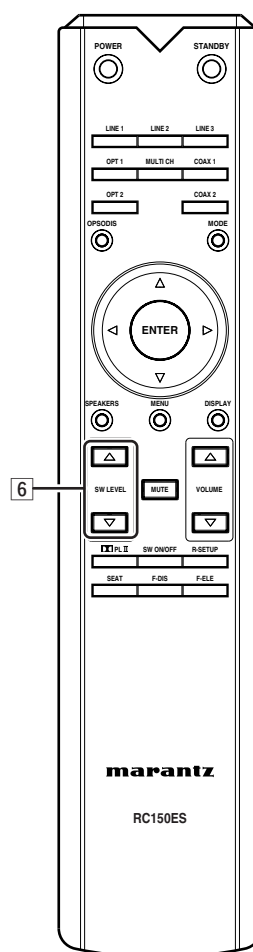
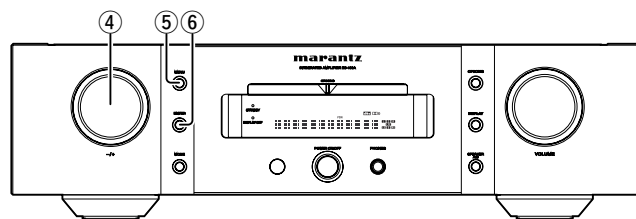
```
SUBW = -10dB
```

5. **ENTER** ボタン ⑥ を押し、設定を終了します。
6. **MENU** ボタン ⑤ を押すと、もとの表示に戻ります。

■ リモコンでの設定

1. リモコンにある **SW LEVEL** ▲/▼ボタンを押して音量を設定します。

ご注意

SW OFF 時はリモコンでの操作はできません。

本体の音量レベルとサブウーファーのレベルの関係

サブウーファーのレベルと本体の音量レベルの最大値は、互いに影響を与えるため以下のようになります。

Main Volume 最大値	SW Level 最大値	備考
+18dB	+0dB	Main Volume Max. Level
+17dB	+1dB	
+16dB	+2dB	
+15dB	+3dB	
+14dB	+4dB	
+13dB	+5dB	
+12dB	+6dB	
+11dB	+7dB	
+10dB	+8dB	
+9dB	+9dB	
+8dB	+10dB	以下 SW Level Max.は不変
+7dB	:	
+6dB	:	
:	:	

バイリンガルの設定

AAC 信号の主・副・主+副音声の設定をします。

■ フロントパネルでの設定

1. **MENU** ボタン ⑤ を押します。
2. **ー/+**つまみ ④ を回します。

BILINGUAL

3. BILINGUAL が表示されたら、**ENTER** ボタン ⑥ を押します。
4. **ー/+**つまみ ④ を回し、BIL. MAIN / BIL. SUB / BIL. MAIN + SUB からお好みの設定を選びます。

BIL.MAIN

5. **ENTER** ボタン ⑥ を押し、設定を終了します。
6. **MENU** ボタン ⑤ を押すと、もとの表示に戻ります。

■ リモコンでの設定

1. リモコンにある **MENU** ボタン ⑮ を押します。
2. カーソルの▲/▼ボタンを押して、BILINGUAL が表示されたら **ENTER** ボタンを押します。

BILINGUAL

3. BILINGUAL が表示されたら、カーソルの▲/▼ボタンを押して、

   BIL. MAIN / BIL. SUB / BIL. MAIN + SUB からお好みの設定を選びます。

BIL.MAIN

4. **ENTER** ボタンを押し、設定を終了します。

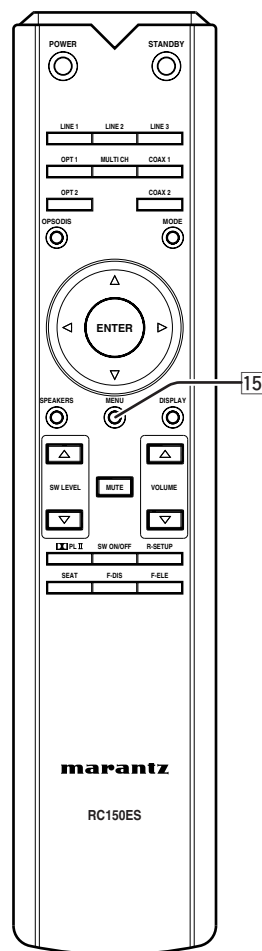
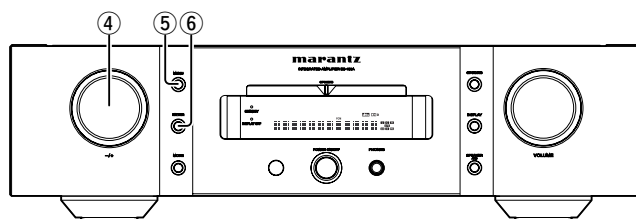
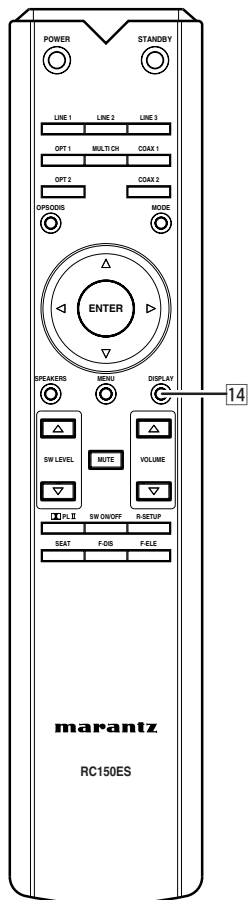
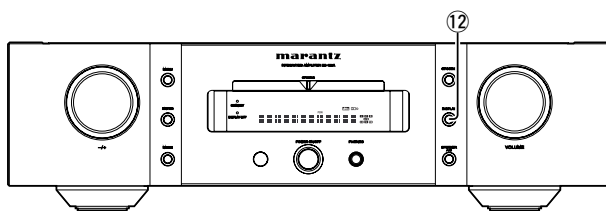
ATT.(アッテネーター)機能

アナログ入力でご使用されるとき、接続される機器の出力レベルが高い場合は音が歪むことがあります。
このとき、ATT.機能を設定してください。

1. **ENTER** ボタン ⑥ を3秒間押します。

   "ATT ON" が表示され、機器内部で入力レベルがー6dB に設定された状態で出力されます。

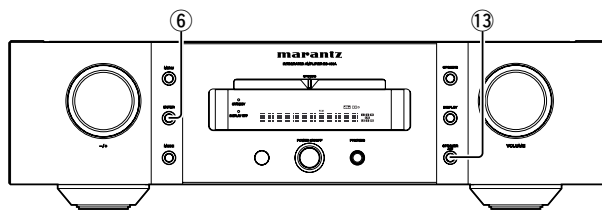
ATT ON

2. 再度、**ENTER** ボタン ⑥ を3秒間押すと、入力レベルが 0 dB に設定されます。

イルミネーションランプの設定のしかた

イルミネーションランプは連動点灯モードと常時消灯モードを選択することができます。
連動点灯モード時はディスプレイの点灯/消灯に連動します。
工場出荷時は連動点灯モードになっています。

ご注意

ディスプレイオフ時とMUTEオン時は操作できません。

1. イルミネーションランプが点灯している状態で**DISPLAY**ボタン⑫もしくは⑭を3秒以上押します。
2. イルミネーションランプは消え、常時消灯モードに設定されます。
3. 再度、**DISPLAY**ボタン⑫もしくは⑭を3秒以上押すと、連動点灯モードに設定されます。

初期状態にするには

設定した内容を全て消去して工場出荷時にもどすには

1. 電源が入っている状態で本体にある**ENTER**ボタン⑥と**SPEAKER A/B**ボタン⑬を同時に3秒以上押してください。
2. 約2秒間、表示部にDEFAULTが表示されます。

```
DEFAULT
```

3. 約2秒後、自動で電源が切られます。
4. 直後に自動で電源が入り、表示部にCLR MEMORYが表示され、初期化が終了します。

```
CLR MEMORY
```

初期状態の設定

ソース入力	COAX1
サラウンドモード	SURR
マスターボリューム	−∞ dB
ディスプレイモード	SOURCE&VOL
スピーカー	A
OPSODIS	ON
Pro Logic II の設定	OFF
仮想フロントスピーカーの高さ設定仮想	F-ELE 0
フロントスピーカーのL/R間の距離設定	F-DIS NORMAL
低域スピーカー(LF/LR)の向き設定	LF-L/R 1
OPSODIS フィルターの設定	SEAT 1
仮想サラウンドスピーカーの位置調整	R SETUP SIDE
サブウーファーのオン/オフ	SW OFF
サブウーファーのレベル	SUBW = 0dB
バイリンガルの設定	BIL. MAIN
アッテネーター	ATT OFF
イルミネーションランプの設定	連動点灯モード
リモートコントロールの設定	IR = ENABLE

故障とお考えになる前に

故障かな？と感じたらちょっと確認してください。
下記の項目を確認しても直らない場合は、お買い上げになった販売店もしくはお近くの株式会社マランツコンシューマーマーケティング各営業所、お客様相談センター、または当社サービスセンターにご相談ください。

★ 電源が入らない

1. 電源コードが確実に電源コンセントに差し込まれていますか？
   →電源コードを正しく接続してください。
2. スタンバイランプが点灯していませんか？
   →リモコンのPOWERボタンを押してください。

★ スピーカーから音が出ない

1. 前面のSPEAKERボタンの A/Bの選択はあっていますか？
   → SPEAKERボタンを押してください。
2. 前面のセレクターで選択した入力ソースが間違っていませんか？
   →入力ソースを確認してください。
3. 再生機器などのご使用方法が間違っていませんか？
   →再生機器の取扱説明書をご覧ください。
4. 接続コードやスピーカーコードが確実に接続されていますか？
   →接続コードやスピーカーコードを正しく接続してください。
5. スピーカーコードの芯線が金属部または＋と－の芯線が接触していませんか？
   →スピーカーコードを正しく接続してください。
6. ミュート機能がオンになっていませんか？
   →ミュート機能をオフにしてください。
7. PHONES端子にヘッドホンが接続されていませんか？
   →ヘッドホンを外してください。

★ フロントチャンネルの音しか出ない

1. OPSODIS機能がオフになっていませんか？
   → OPSODIS機能をオンにしてください。
2. 3Dモードになっていませんか？
   → SURRモードに設定してください。

★ DTS信号のあるCDやLDからノイズが出る

1. アナログ入力で使用していませんか？
   →再生機器がデジタル出力できることを確認して、デジタル入力で接続してください。
2. CDやLDがDTS信号の出力に対応していますか？
   →再生機器の取扱説明書をご覧ください。

★ 96kHz PCM信号が再生できない。

1. 本機はサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHzに対応しています。
   →DVDプレーヤーの設定を48kHzになるようダウンサンプリング設定をしてください。

■ 保護回路について

本機にはアンプ回路およびスピーカーシステムを破損から保護する「保護回路」を搭載しています。
保護回路が動作するとすぐにミューティング機能が働きます。

● 電源投入時

電源投入後からアンプ回路が安定するまでの約8秒間、保護回路が働き、ミューティング状態になります。
その後、アンプ回路が安定すると保護回路を解除し、音が出る状態になります。

● 過大な電流が流れた時

下記の様に過大電流が流れた時、保護回路が働きます。
・過大な信号が入力されアンプ回路に過大な電流が流れた時。
・インピーダンスが6Ω未満のスピーカーシステムを接続して使用し、設定以上の過電流を検出した時。
・誤ってスピーカーコードをショートした時。

この時ディスプレイには“AMP ERROR”と表示されます。
メイン電源をお切りになり、スピーカーのインピーダンスの確認とスピーカーコードがショートしていないか確認をしてください。

● パワーアンプが加熱した時

下記の様にパワーアンプが加熱した時、保護回路が働きます。
・過大な信号を入力された状態で連続使用し、メインアンプ部の温度が設定以上の温度になった時。
・天面の通風孔を塞いで使用したり、狭いラックに入れて使用し、設定以上の温度になった時。

この時ディスプレイには“AMP ERROR”と表示されます。
メイン電源をお切りになり、温度が下がってからボリュームを少し絞ってお使いください。

■ エラーメッセージについて

製品内部で異常が発生した時に表示されます。本機ディスプレイに下記の表示がされた場合、お買い上げになった販売店・お近くの株式会社マランツコンシューマーマーケティング各営業所・お客様相談センター、または当社サービスセンターにご相談ください。

● CHK DSPROM

メインマイコンとDSPのコードに異常のある場合に表示されます。プログラムデータが破損した可能性があります。

● CLR MEMORY

内部ロムのデータに不具合がある場合に表示されます。メインマイコンがロムのデータを正しく書き換えますので、そのままお使いになれますが、設定した内容は全てクリアーされて工場出荷時の設定にもどります。
頻繁に表示される場合はお買い上げになった販売店・お近くの株式会社マランツコンシューマーマーケティング各営業所・お客様相談センター、または当社サービスセンターにご相談ください。

● CHK E2P IF

内部ロムとメインマイコンの通信が正しく出来ていない場合に表示されます。
内部ロムが破損した可能性があります。

● CHK POWER

アンプ用の電源に異常がある場合に表示されます。
アンプ用電源回路が破損した可能性があります。

● AMP ERROR

アンプ部に異常がある場合に表示されます。

仕様・外観寸法図

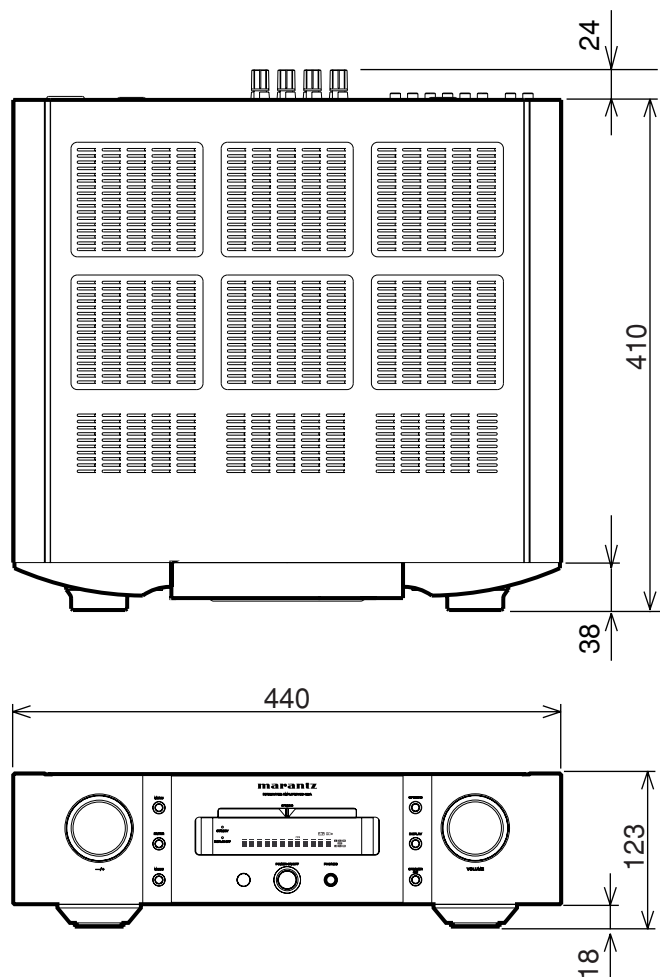
オーディオパワーアンプ部

定格出力（20 Hz - 20 kHz / THD = 0.2%）....80W/ch 6 Ω
実用最大出力（1kHz / JEITA）.........................100W/ch 6 Ω
周波数特性...20 Hz ー 20 kHz ± 3dB
S/N 比 85dB

デコーダー＆プリアンプ部

再生対応信号フォーマット
　PCM オーディオ（fs ＝ 32kHz, 44.1kHz, 48kHz）
　DOLBY DIGITAL
　DTS
　AAC
　バイノーラル
周波数特性
　アナログ入力：LINE1 入力
　　...20 Hz - 20 kHz（± 3dB）
　デジタル入力：PCM　44.1 kHz
　　...20 Hz - 20 kHz（± 3dB）
　S/N 比：PCM　44.1 kHz
　　...100dB

電源電圧...AC100V　50/60 Hz
消費電力（6 Ω 、80W x 2 出力時）...................................82W
待機時消費電力...0.6W
最大外形寸法（本体）
　幅　..440m
　高さ 123mm
　奥行き...434mm
質量（本体）..14.5 kg
付属品
　リモコン 1
　単４乾電池...2
　保証書 1
　愛用者カード...1
　取扱説明書（本書）...1

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

その他

■ お手入れ

- セットが汚れた時は柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい時は食器用洗剤を５〜６倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

■ ステレオ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■ 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より１年間です。
   お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」致します。
3. 保証期間経過後の修理。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低 8 年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“故障とお考えになる前に”をご参照の上よくお調べください。それでも直らない時は、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1）品名	**インテグレーテッドアンプ**
2）品番	**ES-150A**
3）お買い上げ日	年　月　日
4）故障の状況	（できるだけ具体的に）
5）ご住所	
6）お名前	
7）電話番号	

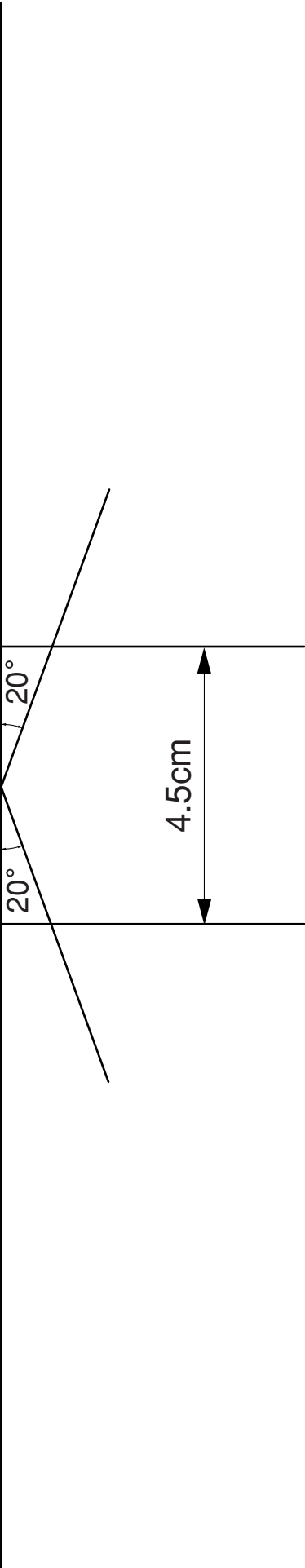
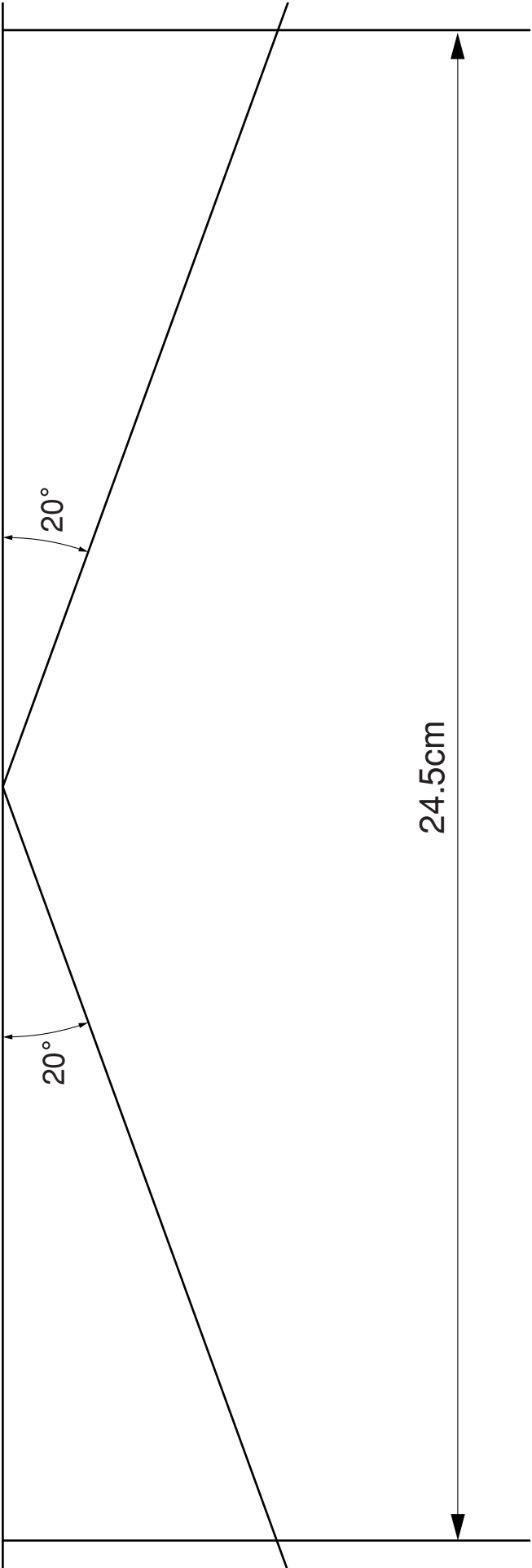
■ スピーカー設置寸法図

●スピーカーとリスニングポイントの距離が 1.5m の場合

●スピーカーとリスニングポイントの距離が 2m の場合

20°

24.5cm

20°

marantz®

お客様ご相談センター

〒104-0033　東京都中央区新川 1-21-2　茅場町タワー13F

☎ (03)　3719-3481

ご相談受付時間

9：30ー12：00　13：00ー17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社マランツコンシューマー マーケティング

〒104-0033　東京都中央区新川 1-21-2　茅場町タワー13F

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.jp

Printed in Japan　　10/2005　00M16AJ851110　mzh-g